

～季節の花便り～

過酷な環境 “真夏の砂丘” で力強く咲く

砂丘の女王 “スカシユリ” 見頃です！



平成 20 年 7 月 25 日撮影

謹啓 盛夏の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国営ひたち海浜公園では、砂丘エリアを中心に「スカシユリ」が見頃を迎えていますのでご案内いたします。

多くの植物にとって過酷な環境である真夏の砂丘で、白い砂地にひととき鮮やかなオレンジ色の花を咲かせる姿は、華麗でいて力強く、“砂丘の女王”としての気品に溢れています。

スカシユリは、かつては砂浜に群生していましたが、開発や盗掘などにより数が激減してしまいました。そこで本公園では、残った株を保護するとともに、圃場で球根を増やし、公園ボランティア「海浜植物パートナー」やお客様の協力を得て砂丘エリアに植え付けるなど、市民とともに保護増殖活動に取り組み、毎年本格的な夏を迎えるこの時期、砂丘に映える鮮やかな花姿をお楽しみいただいています。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく願い申し上げます。 謹白

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 6 0 5 - 4
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下
電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339
お客様問い合わせ電話番号(029)265-9001
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

白い砂丘を彩る鮮やかなオレンジ色の花

開花：7月上旬～8月上旬

スカシユリ ユリ科

スカシユリとは

海岸の砂地に生える多年草で、7月上旬から8月上旬にかけて、大きなオレンジ色の花を咲かせます。

花弁の下方が細くなっており、各花弁の間が透けてみえることから、「スカシユリ」と呼ばれています。



平成 20 年 7 月 12 日撮影

ひたち海浜公園のスカシユリ

ひたち海浜公園の夏の砂丘を彩る代表的な海浜植物で、白い砂丘に鮮やかに咲くオレンジ色の花は、遠くから見てもとても目を引きます。

スカシユリはかつて砂丘に群生していましたが、開発や盗掘により数が激減してしまいました。

そのため、本公園では、残った株を大切に保護すると共に、園内の圃場で育てた球根を砂丘エリアに植えています。



平成 20 年 7 月 20 日 フォトパートナー阿部氏撮影

【トピックス】海浜植物の群落復元をめざす ひたち海浜公園の取り組み

本公園では、砂丘エリアにかつての多様な海浜植物が咲き乱れる美しい自然植生を取り戻すため、海浜植物の保護増殖活動に積極的に取り組んでいます。

特にスカシユリは、公園ボランティア「海浜植物パートナー」の皆さんによる増殖活動や、お客様参加型の球根植え付けイベントを行っています。昨年は、イベントを通じて約1万個の木子を植え付けました。これらが順調に育ち、やがてかつての群落が復元され、ひたち海浜公園の夏の砂丘をオレンジ色に染めてほしいと期待しています。

公園ボランティア「海浜植物パートナー」

平成 17 年度に設立し、現在 19 名が登録しています。「かつて本公園の周辺一帯を彩っていた海浜植物の咲き誇る風景を取り戻そう！」と、毎週金曜日、海浜植物をはじめとする野草類の保護・育成を行っています。

特に、スカシユリについては重点的に取り組み、球根の増殖、植え付けなどを行っています。

「スカシユリ増殖作戦！」

公園内で育てたスカシユリの球根をみんなで植えて、砂丘に群落をよみがえらせよう！

日時：10/19(日)、11/2(日)

時間：10:00～12:00

集合：海浜口

定員：各日 30 名

事前申込

10/19(日)・11/2(日)は
入園料無料日です。
(駐車料金等は別途必要)



海浜植物パートナー活動風景



イベント実施風景

～砂丘に生きる「海浜植物」について～

「砂丘(海岸砂丘)」の特徴とは

直射日光が強く、乾燥しやすい。

潮風を受け、塩分が多い。

風が砂を絶えず動かしている。

これらは植物にとってあまり良い環境ではないため、多くの植物は生育できません。

このような環境でも生育できる特徴を持った植物が、「海浜植物」と言われます。

「海浜植物」の特徴とは

地上部の丈が低い。

海浜植物は強い潮風に耐えるため、背丈を低くしています。

スカシユリの背丈も地面を這うように低いものが多く、短い茎の先に不釣合いとも言える大きな花を咲かせます。

スカシユリの地上部



葉が肉厚で、光沢がある。

海浜植物の多くは葉が肉厚で、内部に水分を貯めて、蒸発するのを防いでいます。また、葉の表面に光沢があるのは、乾燥の激しい環境で水分の無駄な蒸散を防ぐとともに、海水のしぶきから葉を守るためです。

スカシユリの葉も光沢があり、太陽光を反射して葉の温度が上がるのを防いでいます。

スカシユリの葉

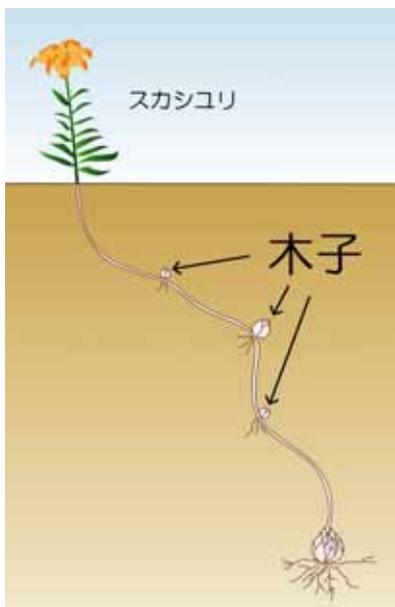


地下部(根や地下茎)が発達。

海浜植物は、乾燥した砂地でも水分を摂取できるように、根や地下茎が非常に発達しています。

スカシユリも、平均 30～40cm の長さの地下茎が、深さ 20～30cm のところを曲がりながら伸びています。

スカシユリの地下茎



【トピックス】スカシユリの増やし方

スカシユリの鱗茎(地下茎の周りの葉が肉厚で球状になったもの。いわゆる“百合根”)は砂中に深く埋もれ、屈折した茎が地上まで立ち上がります。この屈折した地下茎の途中に、木子(きご)という小さな球根が付きます。

スカシユリを増やすには、種子を発芽させて育てることも可能ですが、開花するまでに3年以上の歳月を要するため、木子を取って育てていくのが効果的です。

また、スカシユリはウイルスに非常に弱いため、植える際には、土壌を使用せず砂を用いることが大切です。

ひたち海浜公園では、こういったポイントを踏まえて、毎年スカシユリの数を増やしています。

